

(計画名)	東三河区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	愛知県
(地域の課題)	
<p>他地域での交通基盤整備の進展により、国土の中央に位置する地理的特性・恵まれた交通条件等本区域の持つ優位性が相対的に低下しており、産業の活性化が求められている。</p>	
<p>地域経済を支える三河港の物流機能の強化や高速道路へのアクセス道路の整備等を図る必要がある。</p>	
<p>大規模地震発生の切迫性の高まりや災害の教訓・課題等を踏まえながら、あらゆる災害に対応できる防災対策を確立する必要がある。</p>	
(計画の概要)	
(1) 三河港を核とする広域物流ネットワークの形成	
<p>世界につながる国際的な産業・物流拠点の形成に向け、自動車を取り扱う岸壁及びコンテナを取り扱う機能の強化など、<u>三河港の物流機能の強化</u>を図る。</p>	
<p>三河港と近隣地域との広域連携強化を視野に、<u>第二東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路の整備</u>やこれらへのアクセス機能の強化を図るとともに、伊勢湾口道路構想等を推進する。</p>	
(2) 潜在的な発展可能性を活かした地域産業の活性化	
<p>豊橋技術科学大学を中心とする産学官連携について、<u>豊橋サイエンスコア</u>を拠点として一層推進するとともに、<u>既存産業と農産物など地域資源の融合による健康長寿分野での取組</u>等により、<u>次世代産業クラスターの形成</u>をめざす。</p>	
<p><u>IT やバイオ分野の研究開発やその活用など農・工の連携</u>を図ることにより、新しい農業の展開をめざす。</p>	
(3) 暮らしやすさを実感できる地域社会の形成	
<p>住宅や公共施設の耐震工事の推進、海岸堤防等の整備及び地域防災力の強化など<u>地震防災対策を計画的・効率的に推進</u>する。</p>	
<p><u>安定的な水供給を確保するために、設楽ダム建設事業の早期着工</u>と豊川用水二期事業の早期完成をめざす。</p>	
<p>人にやさしい街づくりや、全ての外国人が住民として安心して暮らせる社会(<u>多文化共生社会</u>)の実現に向けた取組を推進する。</p>	